

講師のひとりごと

「笑顔の力」
東日本大震災から早いもので二週間が経過しました。依然復旧活動が進まず、更には福島原発の原発騒動、関東では計画停電や液化現象など、困難と言っても過言ではない状況です。

そんな中、幸いにも無事だった私は先日、友人とともに沿岸部のボランティアに行ってきました。メディアで報道されている惨状を想像して、ある意味覚悟を決めて現地に向かいましたが、目の前に広がる光景は、想像を絶するという言葉では形容しがたいほどひどい状況で、ただただ呆然としてしまえばかりでした。

お奨め図書のコーナー

『成功をめざす人に知ってほしいこと』
てほしいこと』

リック・ピティノ
デイスカヴァー・トゥエンティワン社

人によって成功とは様々ではあります。成功するためにはそれに見合う努力をしなければなりません。「成功に値する人」になること「自尊心」を持つことが必要であり、持続させるための努力が必要なのだ。本書では述べられていません。読みやすく、各項目に分かれており、ポイントも押さえられているため非常に読みやすい一冊です。また、著者がバスケットボールの監督

保っている家の瓦礫の撤去や、避難所（メディアでは取り上げられない小さな避難所）に簡単な炊き出しを提供することをやりました。

本来であれば笑顔で被災者に接するべきだったのでしようが、情けなくもあまりの惨状を目の当たりにして、私も友人も意気消沈してしまっていました。

と、その時でした。一人の男性が何も言わずに笑顔で私の肩をポンポンと叩いてくれました。その笑顔にどんな意味が込められているかは分かりませんが、その笑顔で私の気持ちが前に向いたという事は間違いない事実でした。

帰り際にその男性に挨拶をしました。が、何とその男性はボランティアの方をしていてためかリーダーの在り方についても考えさせる内容となっており、本当に重要なことはスポーツもビジネスも関係なく共通するものだとわかります。

『ラーメン二郎にまなぶ経営学 大行列をつくる26（シロ）の秘訣』

信州大学 経営大学院 准教授
牧田 幸裕 (ダイヤモンド社)

一時間待ちは当たり前前、連日大行列をつくるラーメン二郎。「なぜ二郎は

ではなく家も奥さんも失っていた被災者の方でした。

復興と一言で言いますが、建物の前に人の心の復興が最も重要です。その男性の笑顔、そして互いに助け合う被災者を見て、本当の意味での復興への兆しを感じる事ができた貴重な体験でした。



人気なのか」を経営学の観点から分析して述べられています。二郎に並ぶ人たちはその多くがジロリアンと呼ばれるヘビーユーザーです。その多くの人たちが二郎に心を奪われた理由を明確にすることで、日本企業の競争力強化のヒントを得たいという著者の狙いがあります。そして経営学を学んだことが無くても理解しやすい言葉遣いで書かれている為、新人にも興味を持って読んでもらえると思います。



編集後記

あの悪夢のような東日本大震災から早くも二週間が過ぎようとしています。震災後の一週間は、ライフラインがストップしていたため、生活する事に一杯で、あっとい間に過ぎていきました。この震災を経て、様々な想いが渦巻く中、これまでの価値観が大きく変わったような気がしています。大切だと思っていた物、必要だと感じていた物、それらは震災後の生活の中で、まるで役に立たないガラガラタタのようでした。普段、蛇口を回せば出る水、離れていても声が聞ける電話、スイッチを押せば明るく照らす電気、何気なく使っていたものがどんなに便利だったか、普通に生活できる事がいかに幸せであるかを感じ知らされました。まだ不自由な生活を強いられる方が沢山いらっしゃいます。限りある資源の中で私たちは生きていくという事を決して忘れず、毎日を通していく必要があるのではないのでしょうか。

ビジネス教育訓練所株式会社
閃光編集部 スタッフ一同

閃光

平成二十三年卯月号



東日本大震災

三月十一日二時四十六分、突然の揺れで本能的に危険を感じた。前日まで出張の合宿訓練を担当し、その指導報告書を作成している時であった。三十三年前の宮城県沖大地震を思い出したが、その時よりも揺れが大きくかつ激しく、食器棚から、グラス・茶碗・ワインボトルが飛び出し、あっとい間に床に落ち破片の山。タンス・テレビ・書棚も倒れる。もう終わってこれと心の中で叫んでも、容赦なく揺れ続き、尋常ならぬ状況で恐怖を感じた。実際六分間の地震だったのだが、感覚的には相当の長さだった。終わった時は、恐怖を感じていたので、力が抜け安堵したのと同時に「これは甚大な被害があったのでは」と胸さわぎを覚えた。事実、マグニチュード九、震度六強、栗原地区は震度七と戦後最大の巨大地震だったのである。死者、行方不明者は二万人を超え、まだまだ増えており、関東大震災に次ぐ被害で、信じがたい出来事である。このおぞましい体験以降も、これまでにならぬ生活の強いられた。社員も交通機関が不通で帰る事が出来ない者もいれば、ライフラインが断たれ生活自体ができない者もいたため、会社で避難生活をしなければいけなくなりました。幸い会社は、寝泊まりできるような状態になっていたので、十人ほどは泊まられたので、地震当日は九人がやむを得ず共同生活をする事となった。停電だったので、ろうそくをともし、原始的な生活をせざるを得なかった。幸い当日は、水道が使え、ガスが使えたので、ストックしていた食材を使い、不自由な中全力をこらわせた。不安ながらも過ごすことが出来た。まもなく断水となつて、一段と厳しい状況が数日続いたが、かえってそれぞれ危機感を持って協力し合い、不自由な中にも充実した日々を過ごした。大地震が多くなるの教訓を伝えてくれた。「当たり前」の事がいかに大切ですばらしいことか。「文明がすすんでくると今回の地震のようなことがあるのか」「人は一人では生きていけない」「普段、いかにみんな支えあって生きていくのか」「人は一人では生きていけない」等の大地震でわが社の社員は連帯感が深まり、この逆境を乗り越えろと等々々々持たがわき起こった。それは、最も被害が大きかった東北の人達も同様だと思ふ。目を覆うほどの被害となったが、東北人の粘りとけっぱれ精神で乗り越えて行けると信じて疑わぬ。

ビジネス教育訓練所株式会社

代表取締役 三塚 信二

営業マン特訓五日間合宿

二月八日(火)～十五日(火)

二月の営業マン特訓五日間合宿には、北は秋田から南は大阪まで、全十六名の営業マンが集い実施されました。今回は農業資材卸売業、自動車販売業、経営コンサル業、デザイン・印刷業、金属表面処理加工業、包装資材販売業、配管・土木建築材料業等、さまざまな業種が参加し、ベテラン営業マンやトップセールス、新人営業マンなどが入り混じっていました。

参加者の声
集めてなるものか！
合宿訓練中、私が一番感じた事は「今まで常に自分に限界を作っていた。自分への甘え、後ろ向きな考えがそうさせてきたのではないかと感じます。初日「何故こんな所に来ってしまったんだろう、早く帰りたい」とそんな事ばかり考えていました。しかし、時間が経つにつれ「負けてなるものか！見て、絶対やってやる！」という気持ちでがんばり強くなってきました。仲間との絆は一生忘れる事は出来ません。講師の方々の厳しい指導の中にあつた優しさも含めこの合宿訓練に参加して本当に良かったと思えます。絶対プロセールスになって見せます！

入所式の段階から全力の声で臨み他の訓練生に影響を与える訓練生もいれば、声が小さく感情も表に出せず、訓練についていくのがやっとという訓練生もいました。今回集まった訓練生の多くは、目標達成意欲が低く、現状に対する問題意識の甘さがありました。「このくらいでいいだろう」「そこまでやらなくてもいいだろう」という甘い考えが訓練の中で浮き彫りになり、講師から一喝され



感動の修了式

『新入社員』

この度の大震災は、東日本に関わらず、日本経済全体に大きな影響を及ぼしました。本来であれば、新生活に心躍らせる新社会人達も大きな不安を抱えていることでしょう。しかし、だからこそ彼らを指導する私どもが信念を持ち、しっかりとした姿勢で接しなければなりません。

さて、近年ではこの新入社員が社員教育のポイントとして見直されています。その理由には、学生連の能力が低下していることが一つ挙げられます。目上の人に挨拶ができない、敬語が使えないなど、基本的なマナーができていないだけでなく、基礎知識においても文章力が無い、簡単な計算ができない、更には注意するとすぐに塞ぎ込んでしまう。このような新人を目にするのが多くなっているのではないのでしょうか。

お客様に対して折り目正しい挨拶ができないだけではない、礼儀知らずとクレームが起きる事もあられるでしょう。計算や文章を考えることに時間を取られ作業効率がダウン。挙句の果てには、社会人としての心構えが出来ていないため、自分を高めようとすることもなく、言われたことを言われたとおりに行う社員に育ってしまいます。

それではなぜ、新入社員の能力が低下しているのでしょうか。さまざまな原因が考えられます。学ぶことの意義を知らないために勉強をおろそかにしてきた人もいます。そして、周りに見本となる大人がいないことも原因の一つとして考えられます。

それではそのような最近の新入社員に対して、どのように教育、指導していけばよいのでしょうか。次号へ続く



新人教育特集

鉄は熱いうちに打て!

震災の影響で入社式を1ヵ月延期したという企業が多いため、当社で毎年開催される新入社員教育4日間合宿を5月にも特設させて頂きます。毎年賑わいを見せるこの新入社員教育ですが、今年は各自様々な想いを抱いて参加されることでしょう。

まだ右も左も分からない「人材」が熱い想いを抱いている今、学生気分を払拭させ、働く意義を考えさせながら【今の自分に何が出来るか】と常に問い自己研鑽出来る人材になるよう意識改革を図ります。内容としては、挨拶・礼儀・礼節などのコミュニケーションの基本や職場のルールを身につけさせ、社会人としての意識が高いプロのビジネスマンを育成します。具体的には下記のような項目に審査を設け、合格するまで徹底的に鍛えます。

- ◆発声訓練

仕事をするための気迫と気合の増大をはかる。
- ◆即答訓練

質問に対し矢継ぎ早に発表させ、積極性と行動力を養う。
- ◆電話訓練

電話は見えない職場の窓口、会社のイメージが決まる。
- ◆礼儀訓練

礼儀を知るものは強く、知らぬものは没す。礼儀は型より入り、心に通ず。礼儀こそ敵をも味方にする最大の武器である。
- ◆命令報告訓練

命令者に素早く5W1Hの要領で質問し、きちんと仕事を行える様実践訓練をする。また、報告の重要性を教え報告の仕方にも訓練し体得させる。
- ◆ケーススタディ

職場における事例を提起し、問題点を発見させ、討議し社員
- ◆歌唱訓練

感受性やリズム感を養成する。言葉を感情移入して表現力をつけるのに最も効果的な訓練法である。テストで声の大きさ、気合等も厳しく審査する。
- ◆スピーチ

訓練を通じて自分の問題点を吐き出させ、これからはプロのビジネスマンとしてどう行動していくか具体的に抱負を発表させる集大成。
- ◆ビジネスマナー

職場生活における常識、マナーを知らない社員が多い。ペーパーテストを行い、後で解説する。
- ◆ビデオ教育

仕事の進め方、人間関係、接客の3本のビデオを鑑賞させ、これからのビジネスマンとしてのあり方を認識させる。

「今月の名言」

希望は強い勇気であり、あらたな意志である。

マルティン・ルター

童話から得る教訓

東日本大震災後、二次被害・三次被害と日本人は今、多くの不安に晒されています。こういう状況下にあつてこそ人の本質、真価が問われるのではないのでしょうか。子供の頃に誰しも一度は耳にしたことがある物語から得られる教訓は大人になつた今でも考えさせられる点があります。忘れていない事はないか今一度自分の行動を振り返り、童話から得られる教訓と照らし合わせて見てはいかがでしょうか。今もなお、語り続けられるイソップ物語を四話紹介致します

犬と肉

ある犬が、肉をくわえたまま橋を渡っていました。ふと下を見ると、見知らぬ犬が肉をくわえてこちらを見ています。犬はその肉が欲しくなり、脅すために吠えました。すると、くわえていた肉が川に落ちて流されてしまいました。もう一匹の犬は、水面に写った自分自身の姿だつたのです。

雄鶏と宝石

雄鶏は、何か食べるものはないかと土をひっかいていました。そのとき、偶然宝石を見つけたのです。雄鶏はこう言いました。「ほうっ！落とし主がこれを見つけたらさぞ喜ぶだろうな。でも俺にとっては、世界中の宝石よりも妻一粒のほうがずっと大切さ。」

ねずみの恩返し

ライオンに捕まった鼠が、命乞いをして見逃してもらおう。鼠は恩返しを約束したが、ライオンは（助けた理由が気まぐれだったこともあり）鼠を傷つけて恩返しを忘れてしまう。後日、ライオンが網にかかったときに鼠が現れ、網をかみ破いてライオンを助ける。

狐と鶴の競走

意地悪好きの狐が鶴に「ご馳走するからいらっしゃい」と招待し、やって来た鶴にわざと平たい皿に入れたスープを差し出しました。鶴はクチバシが長いので飲めません。それを見ながら狐はおいしそうにクチバシで中の肉をつまんで食べたのでした。



今後の研修について

三月十一日に起こった東日本大震災につきまして、被害を受けられた皆さまに、東心よりお見舞い申し上げます。ご心配をおかけしておりますが、当社では社屋・研修会場（山菜荘）とも一部損傷のみ、社員も全員無事です。しかしその後数日は伝達手段が無く、お客様にはご不便・ご迷惑・ご心配をお掛けしたこと、

心よりお詫び申し上げます。依然として公共交通機関は全復旧とはいきませんが、研修会場は通常通りご利用頂ける状況となりましたので、4月以降の研修に関しては予定通り開催致します。出張研修につきましても、可能な限りの交通手段を利用し、講師を派遣させて頂きますので、何卒宜しくお願い致します。また、新入社員教育四日間合宿につきましては、五月にも特設し、実施する運びとなります。

四月の研修のご案内

■新入社員四日間合宿 四月七～十日

■営業マン特設五日合宿「特設」 四月十一～十五日

■営業マン実践三日合宿 五月六～八日

五月の研修のご案内

■ビジネス特設四日間合宿 五月十三～十六日

■新入社員四日間合宿 五月十三～十六日

■管理層特設六日間合宿 五月十三～十八日

夢を持ってもらいたい 「時は有限、能力は無限」



インタビュー放映中 www.kenja.tv/

